# 環境の日　【広告】

生物多様性を守ろう！ 豊かな森と水を後世に

企画・制作／山梨日日新聞社・アドプレーン社

6月5日 環境の日 6月は環境月間です

この広告は協賛金の一部を自然保護活動に役立てます。

県土の約8割を森林が占める山梨県は、豊かな森が清らかな水を育み、多くの動植物が生息しています。山梨の豊かな生態系を次世代に残すためには、自然を守ることが最不可欠です。私たちに何ができるのか？「シャボテン力学習帳」の表紙写真を長年掲影してきた昆虫植物写真家・自然ジャーナリストの山口進さん、山梨県の生物多様性を長年研究している富士山科学研究所研究員の北原正彦さんに聞きました。

オオクワガタ

オオムラサキ

ゴマシジミ

ゲンゴロウ

里山ってなに？

人の手で維持された里山風景の一例—とは？

現在は、連綿とやや高齢化・産業形態の変化などで問題となっている里山ですが、古来人の手が入ることで、多様な動植物が生息・生育場所になってきました。

里山は、人の自然に働きかけて生まれた多様な自然環境であり、自然性の高い里山は、豊かな自然環境が多くの動植物の生育・生息の場となっています。里山の保全・再生・活用は、地球温暖化や環境問題の解決に貢献するものであり、地球的な課題の解決に貢献するものであります。

里山は、人の手が入ることで、豊かな自然が保全されてきました。

里山は、人の手が入ることで、豊かな自然が保全されてきました。

里山は、人の手が入ることで、豊かな自然が保全されてきました